

国立市予約型乗合タクシー 試験運行の運行計画（案）

1. 運行期間

- ・2018年10月1日（火）～2018年12月27日（木）
- ・運行曜日は火曜、木曜、土曜の週3日とする（3ヵ月で運行日数は37日）
※祝日の場合も運行する

■設定根拠

- ・運行期間の3ヵ月間は業務委託内容より（利用状況を検証するための最低限の期間）
- ・地域への周知、運行準備等を踏まえると、6～9月が準備段階として必要であり、また試験運行の実施後に検証を行う期間も必要であることから、運行期間を10～12月とした。
- ・土日の運行については、試乗運行で土日の利用も一定程度見られたため、試験運行時は平日2日の他、土曜日にも運行することとした。

2. 運行便数、運行時間帯

運行時間帯：午前9時台～午後2時台 の6時間

運行便数：1時間に1便、6時間で計6便

■設定根拠

- ・運行目的として、国立市南部の路線バスや「くにっこ」、「くにっこミニ」から距離がある地域を対象とし、主に買い物や通院、私事目的での移動支援を目的とする。
- ・試乗運行では午前10時台～午後2時台の5時間で運行した。
- ・試乗運行利用者の要望としては、朝と夕方での運行希望が数名見られた。午前9時台はスーパーの開店時間に合致するが、午後については試乗運行の結果より、午後の利用が少なかったため、試験運行は午前9時台～午後2時台とする。
- ・運行便数は、試乗運行の状況より、1回あたりの運行が最大40分程度であり、複数人の利用が見られる場合、30分での運行が困難であることから、1時間で1便とした。

3. 運賃設定

1乗車につき300円とする（小学生は100円、未就学児は無料）

■設定根拠

- ・試乗運行では無料としていたが、利用者へのアンケートでは、運賃を300円にした場合でも利用するとした方がほとんど（約9割）であった。
- ・また、地域へのアンケート調査においても、200円を希望する方が最も多いが、300円までとする方も1/3程度見られ、300円でも利用すると思われる。
- ・他方、最初の運賃を下げすぎると、本格運行時に運賃値上げが困難である点も考慮。

■割引等について

- ・シルバーパス（都バス、民営バスで利用可能）は使用不可とする
- ・往復割引、団体割引、買い物施設との連携は今後検討する

4. 運行区域、停留所の設定

運行区域：国立市内のうち、南武線谷保駅、矢川駅の南部とする

対象町丁目：谷保、谷保6丁目、泉1丁目、泉3丁目、泉4丁目、泉5丁目

■ 設定根拠

- ・ 試乗運行の実施区域を基本とする
- ・ 青柳地区は、くにっこミニ（青柳ルート）が運行しているため、重複を避ける

■ 試験運行の停留所設定の流れ **※今後、施設や停留所付近の住民と協議の上決定**

- ・ 目的地側の乗降場所は、試乗運行と同様に、公共施設、スーパーとする（計6箇所）
- ・ 出発地側の乗降場所は、試乗運行で設定した乗降場所（谷保駅、矢川駅を除く6箇所）に加え、団地や戸建てが集中し、試乗運行の停留所から距離のあるエリアで車両が乗り入れしやすい交差点を中心に抽出（追加停留所：21箇所）

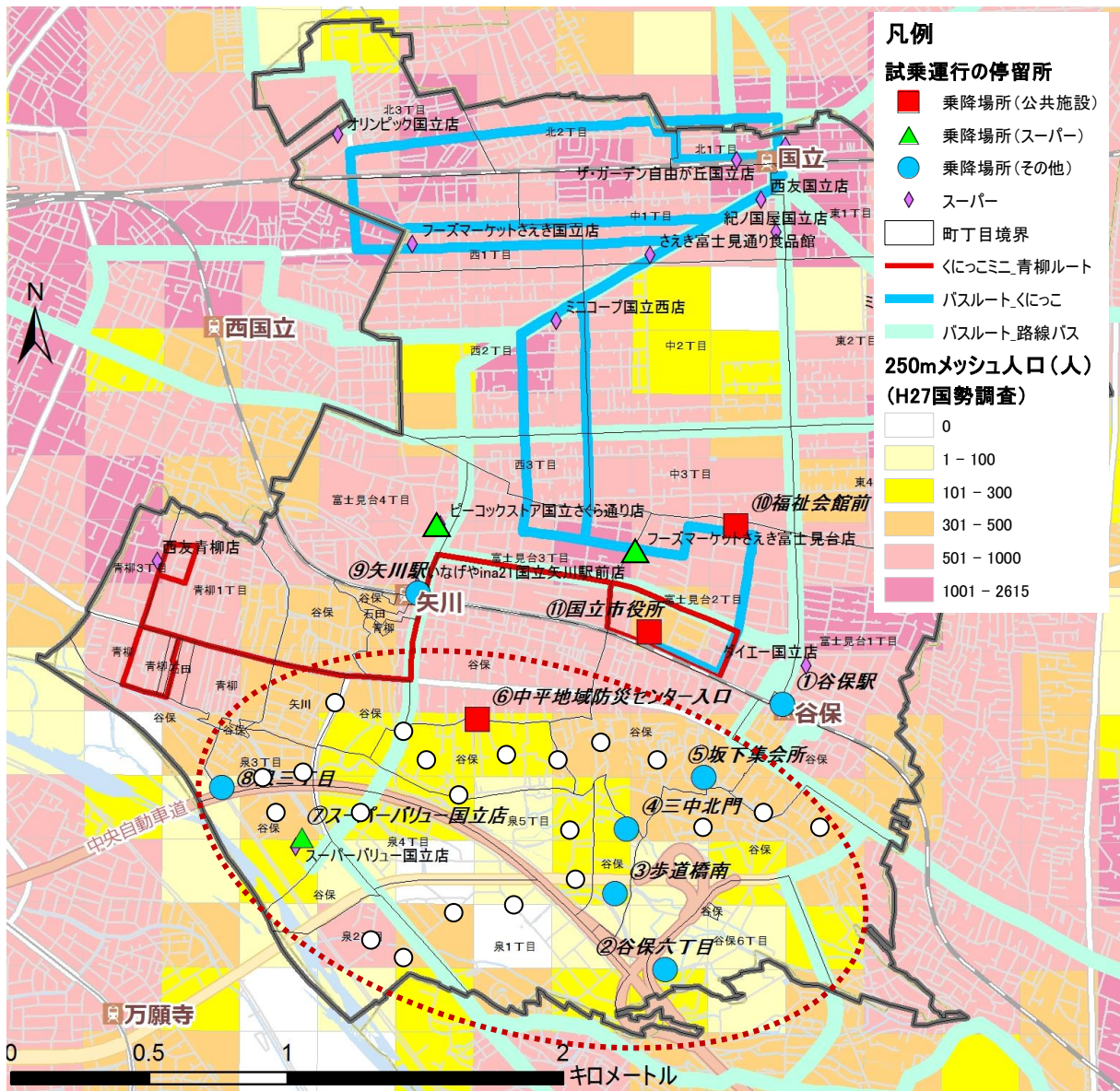


図 運行区域、停留所（案）

5. 予約管理の方法

< 試乗運行時の予約管理 >

- ・市役所で予約を管理し、運行日前日の 18 時までには予約状況を市から交通事業者に伝達
- ・予約は前日の 17 時までとしている

< 試乗運行利用者の意見 >

- ・ネット予約、当日空きがある場合の利用などの意見が見られたが、少数

→3 ヶ月の期間中、市役所での予約管理は困難と想定

→運行事業者による管理を行う方が効率的

< 試験運行時の予約管理方法 > **※運行事業者との調整の上決定**

試乗運行時の知見を踏まえ、以下の通り設定を提案

- ・予約管理は運行事業者の営業所にて管理する
- ・予約期限は、試乗運行と同様に、前日の 16 時までとする

※ただし、運行事業者の対応が可能であれば、当日の 1 時間前まででも可とする

6. 運行事業者、車両について

- ・運行事業者は、現在調整中。(タクシー事業者による運行実施を予定)
- ・使用車両は、試乗運行で使用した UD タクシーを使用予定

7. 収支計画

①利用者数、運賃収入

- ・1 日あたりの利用者数は、1 便あたりの利用者数 1.5 人、運行稼働率を 50% と想定
→1 日 6 便予定のため、 $1.5 \text{ 人/便} \times 6 \text{ 便/日} \times 50\% = 4.5 \text{ 人/日}$
→運行日数を 37 日とした場合、試行運行中の利用者数は $4.5 \text{ 人} \times 37 \text{ 日} = 166.5 \text{ 人}$
※利用者数、稼働率は試乗運行の結果及び他市の目標設定例を参考とした
- ・1 人あたりの運賃は 300 円を予定
→ $4.5 \text{ 人/日} \times 300 \text{ 円} = 1,350 \text{ 円/日}$ 、運行期間合計：1,350 円 × 37 日 = 49,950 円

②運行経費

- ・1 便あたりの運行経費は、貸切運賃 (30 分 2,880 円) の 1 時間分 (5,760 円) とする。
→1 日 3 便 (稼働率 50%) とした場合、1 日の運行経費は $5,760 \text{ 円} \times 3 \text{ 便} = 17,280 \text{ 円}$
→運行日数を 37 日とした場合、試行運行中の運行経費は $17,280 \text{ 円} \times 37 \text{ 日} = 639,360 \text{ 円}$

③収支計画

→収入 (49,950 円) - 経費 (639,360 円) = 約 59 万円、収支率は約 8%
→1 人あたりの支出は 3,540 円

8. 今後のスケジュール

- ・ 運行開始までのスケジュール、調整項目は以下と想定する。
- ・ 当面の対応として、運行事業者の設定、運賃、経費の設定、が主となる

	6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1 運輸局事前相談				■											
2 停留所の設定				■	■	■									
3 運行内容の設定				■	■	■									
4 地域公共交通会議での承認				■											
5 停留所に関する関係機関協議				■	■	■									
6 運輸支局への届け出							■	■	■						
7 地域への周知										■	■	■	■	■	■
8 運行事業者との調整		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
9 停留所設置										■	■	■	■	■	■
10 試験運行実施														■	■

9. サポーター候補者の支援について

<地域へのアンケート調査でのサポーターとしての支援意向>

- ・ 自宅前の乗降場所としての公表・利用、デマンド型交通の周囲への告知、利用困難者への利用支援について意向が高くなっている。

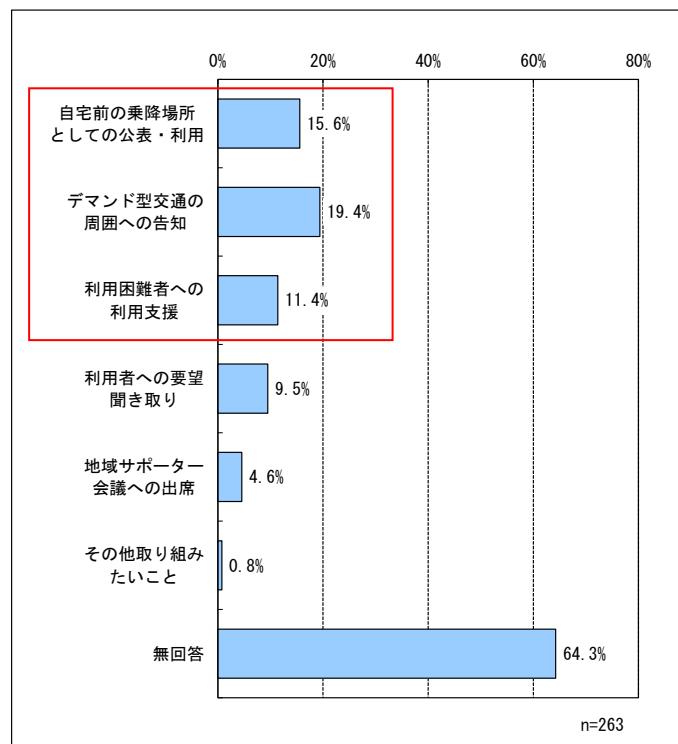


図 デマンド型交通地域サポーター(仮称)として協力できる業務(複数回答)

【周知に関する支援】 ※特に期待する内容

- ・ 試験運行の実施に関するチラシ配布の協力(各戸配布や公民館等での配布)
- ・ 地域の会合等での試験運行の案内
- ・ 独居高齢者、高齢者のみ世帯など、周知が行き届きにくいお宅への案内

<参考資料> 地域住民アンケート調査結果（主要部分抜粋）

①実施概要

- ・調査期間：平成30年2月5日～平成30年2月16日（アンケート配布回収期間）
- ・配布数、回収数：配布数800票、回収数263票（回収率32.9%）

②デマンド型交通の利用意向

- ・回答者全体では約半数が利用したいとの意向を示している。
- ・高齢になるほど利用意向は高い。

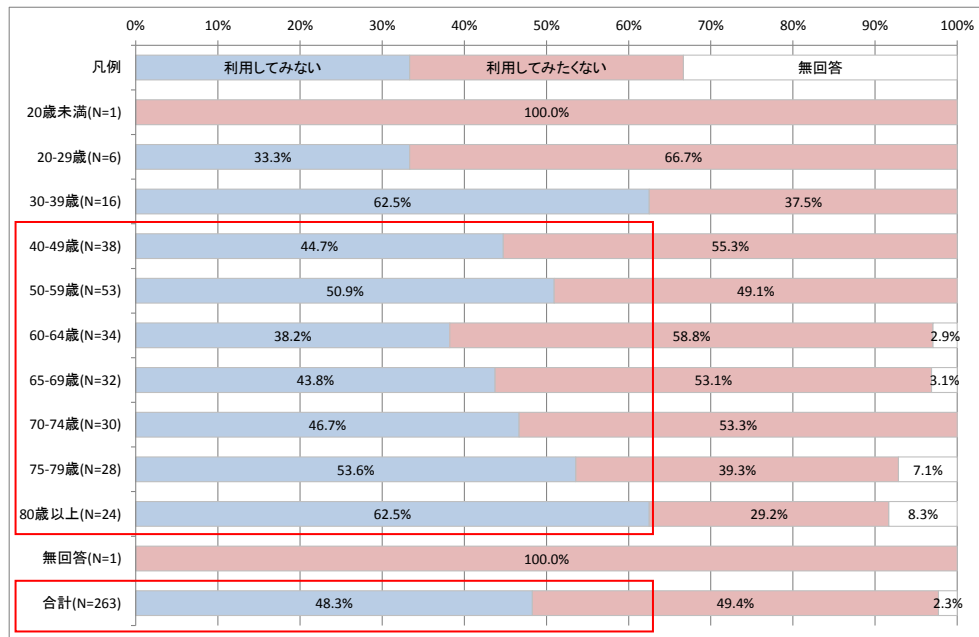


図 デマンド型交通の利用意向（年代別）

③デマンド型交通の利用目的、利用頻度

- ・買い物や通院での利用、駅周辺や公共施設、医療施設、買い物施設へのニーズが大きい。

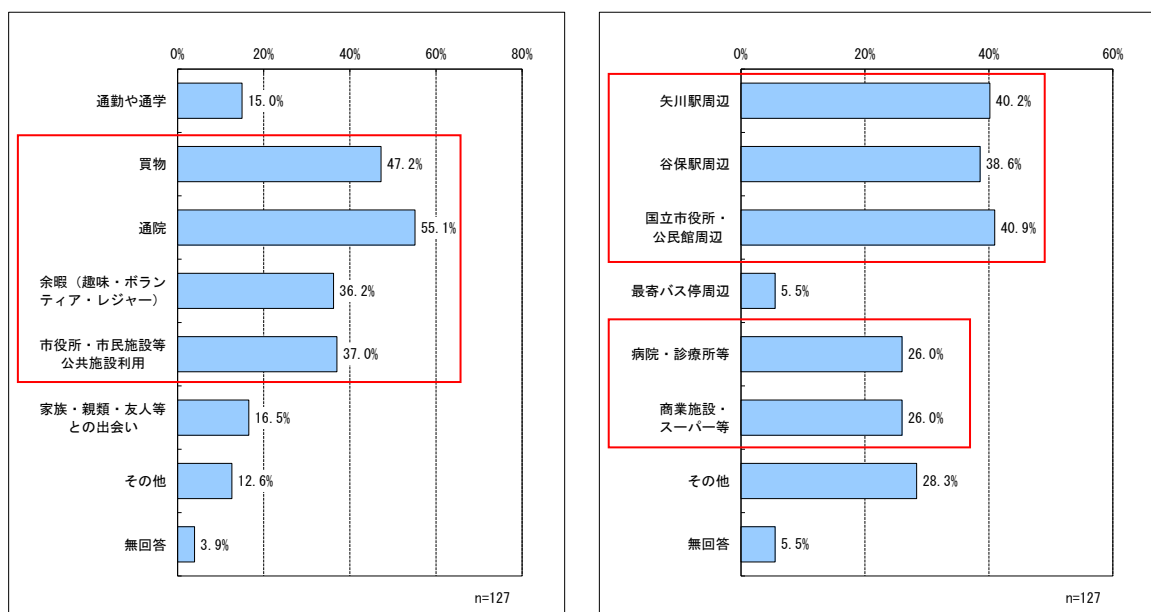


図 デマンド型交通の利用目的、利用先

<参考資料> 試乗運行の結果

①実施概要

- ・運行期間：2018年3月22日（木）～3月28日（水）の7日間（土日も含む）
- ・運行時間帯：午前9時から午後2時までの5時間とし、1時間ごとに1便運行
- ・予約方法：利用日前日の17時までに電話予約（市役所で受付）
- ・運賃：無料
- ・使用車両：ワンボックスタイプ（車いす乗車可）



図 使用車両（三幸交通営業所にて撮影）

- ・運行区域：下図参照

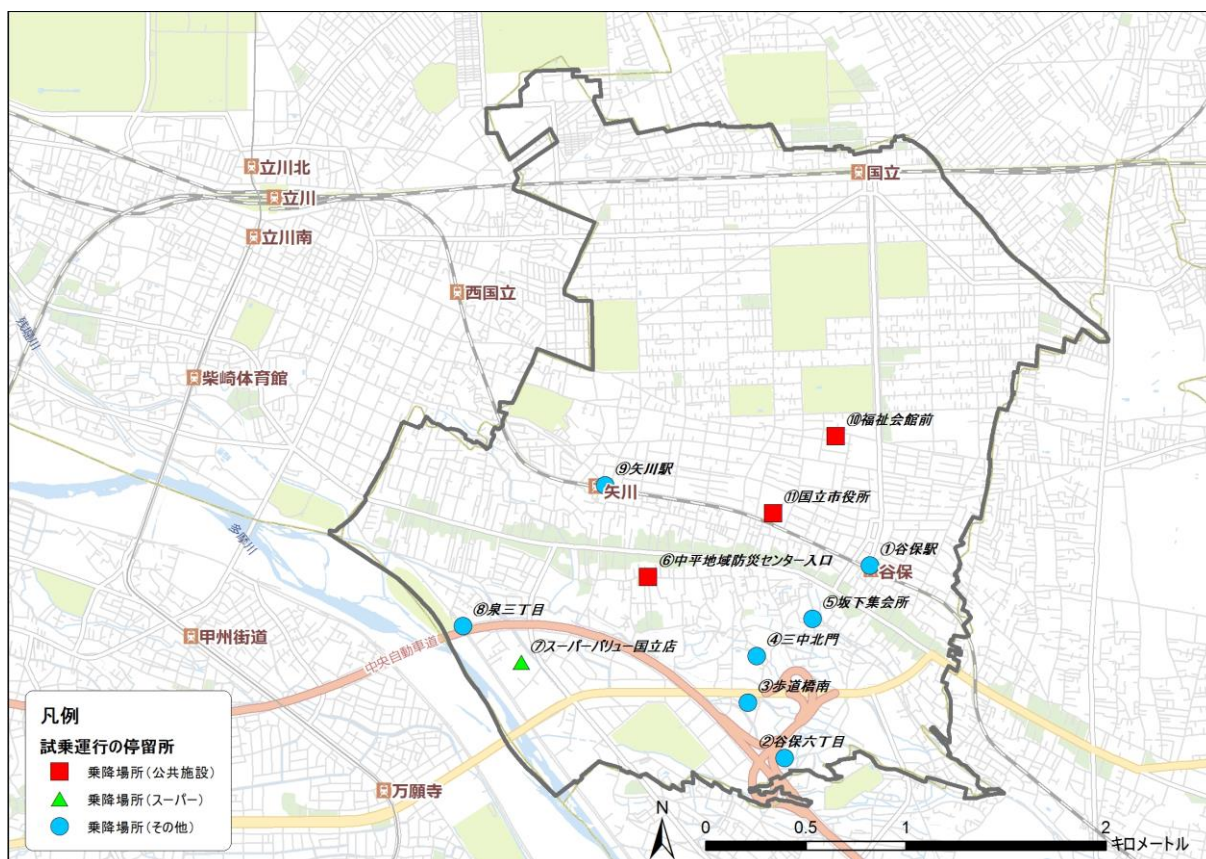


図 試乗運行の停留所、サポーター候補者の住所

②実施結果

- ・運行日ごとの便別稼働状況、利用者数を以下に示す。7日間（35便）のうち、20便が稼働し、稼働率は66.7%であった。
- ・利用者数は7日間合計で50名（ベビーカーによる乳幼児含む）であり、1便あたりの乗車人数は2.5人となっている。
- ・時間別の稼働状況では、午前中の便（1便～3便）の稼働率が高く、午後の便（4～5便）は稼働率が低くなっている。

表 日別便別の稼働状況、利用状況

	1便 10時台	2便 11時台	3便 12時台	4便 13時台	5便 14時台	利用者数	稼働便数
3月22日(木)	1	0	1	0	0	2	2
3月23日(金)	2	3	2	0	0	7	3
3月24日(土)	2	1	1	0	0	4	3
3月25日(日)	3	0	0	0	0	3	1
3月26日(月)	3	4	0	5	4	16	4
3月27日(火)	3	2	2	2	0	9	4
3月28日(水)	4	0	4	0	1	9	3
利用者数合計	18	10	10	7	5	50	
稼働便数合計	7	4	5	2	2		20

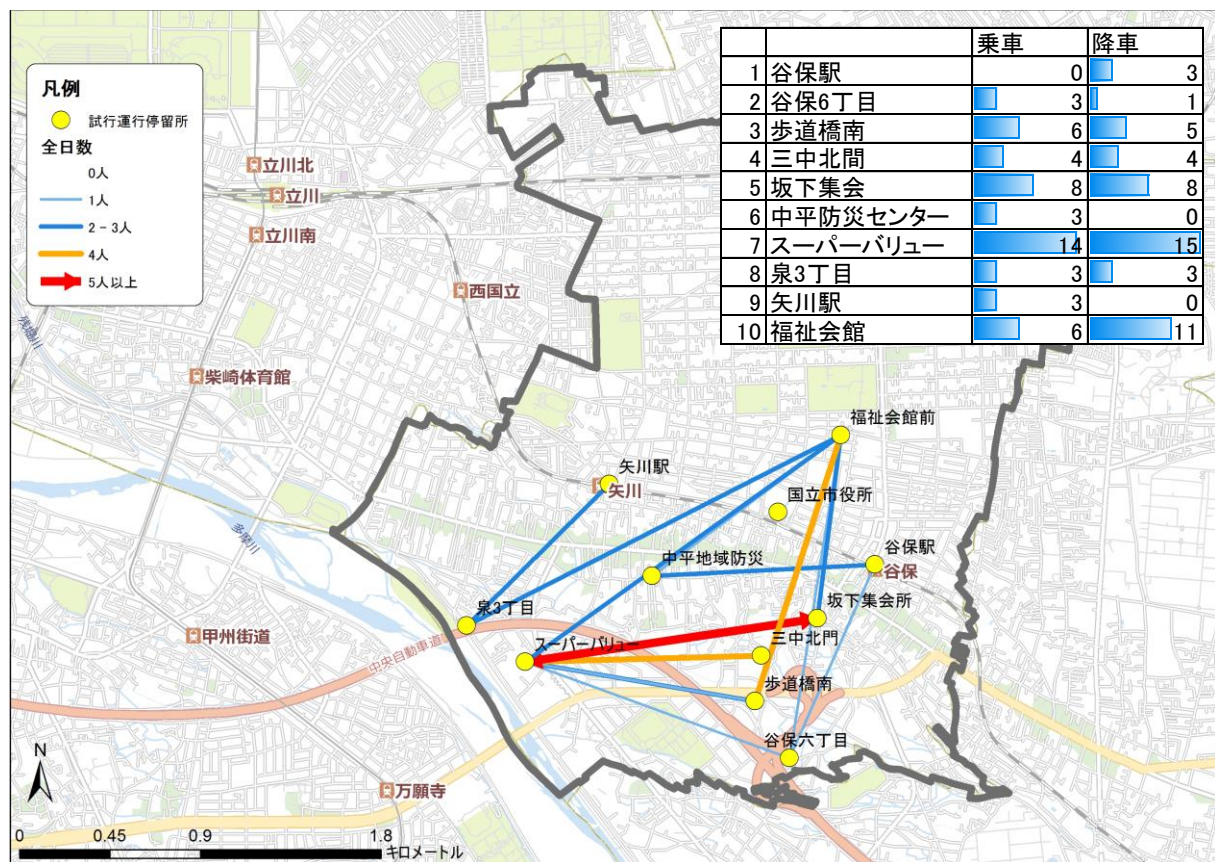


図 停留所間の移動状況（7日間合計）

③利用者へのアンケート結果（回答数 21 票）

・年代は 60 歳代以上がほとんど

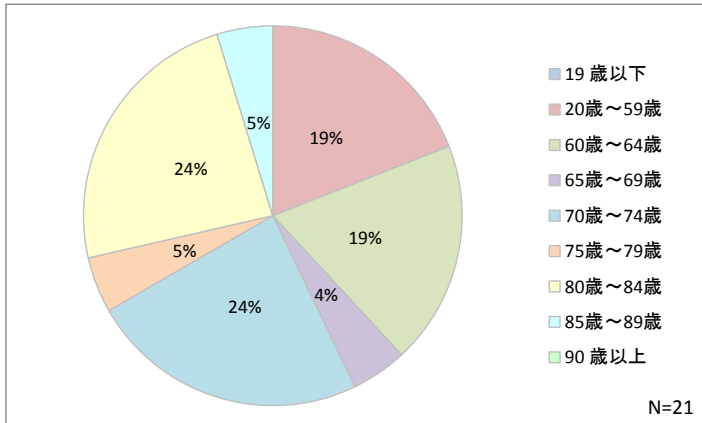


図 回答者の年代

・買い物利用が主となっている

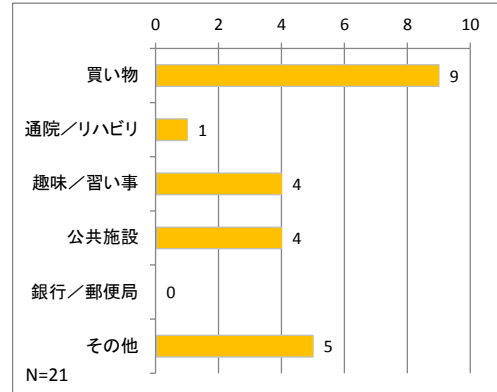


図 回答者の利用目的

・最寄停留所までの距離は 5 分以内が多い

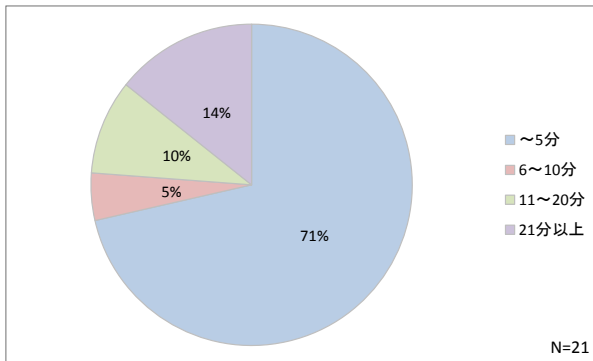


図 最寄停留所までの距離

・帰宅時は別の手段を利用する方も見られた

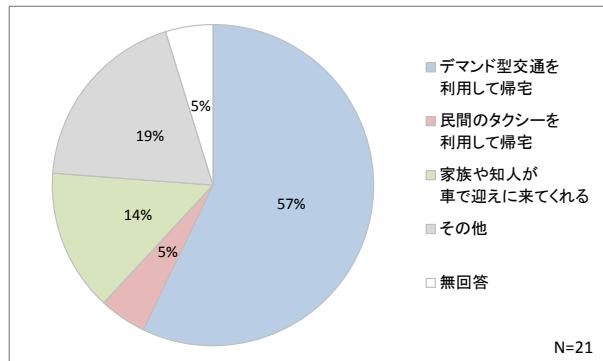


図 帰宅時の移動手段

・運賃が発生しても利用すると回答した方が多い

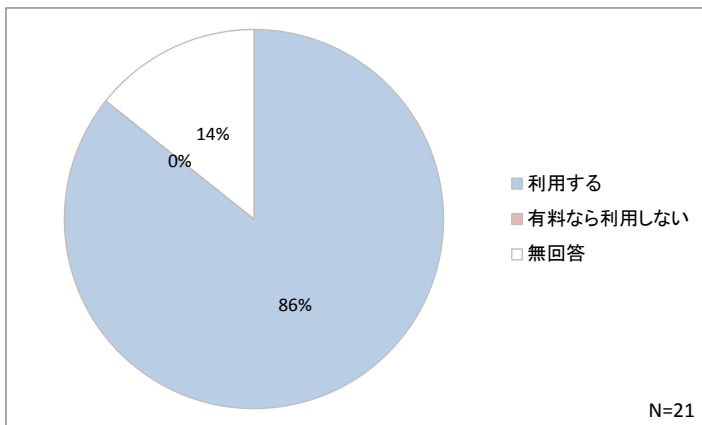


図 運賃が 300 円の場合の利用意向

・主な意見は以下の通り

- 運行時間帯の延長（朝の時間が 4 名、15 時台以降が 3 名）
- 停留所を自宅近くにしてほしい
- 国立駅まで運行してほしい